

バリシップ 2013 海技研セミナー・プログラム

- ・開催日時 平成 25 年 5 月 24 日（金）10:30～12:30
- ・開催場所 展示会 C ゾーン（旧今治コンピュータカレッジ）2 階 特別セミナー会場

・講演内容

理事長あいさつ（10:30～10:35）

理事長 茂里 一紘

鉱物資源を海底に求める（10:35～11:10）

水中工学センター長 浦 環

レアアースを巡る国際問題に関連して、海底鉱物資源が脚光を浴びています。熱水鉱床、コバルトリッチクラフト、レアアース泥、およびマンガン団塊。海底鉱物資源大国に向かって、それぞれの開発が抱える問題点、今何をなすべきか、求められる技術は何かを紹介します。

船舶の動力システムの環境問題と将来展望（11:20～11:50）

理事 千田 哲也

船舶の動力システムは、大気汚染問題と省エネルギーという二つの環境問題に直面しています。一方、規制の進展や石油の需給関係の変化により、燃料も変化してきています。これらの問題に対応するために、後処理装置等の周辺機器を含めた動力システムを構築する必要があります。環境問題への対応技術と動力システムの最適化の観点から、海上技術安全研究所で進めている研究を中心に紹介します。

海難事故解析技術の高度化・設計への反映（12:00～12:30）

海難事故解析センター長 田村 兼吉

2008 年の設立以来、海難事故解析センターは、国土交通省の要請を受け、多くの海難事故の解析を行ってきました。その間、A I S データの詳細解析やレーザースキャナーによる船体計測等、新たな解析手法の開発も行ってきました。こうした事故解析技術の高度化について紹介すると共に、事故から得られた知見を設計や運航に役立てていただけるよう、実験映像やCGを使って事故原因を分かりやすく解説します。

受講料は無料ですが、事前登録が必要です。詳しくはバリシップ 2013 オフィシャル Web サイト (<http://www.bariship.com/>) をご覧ください。

問い合わせ先 (独) 海上技術安全研究所 企画部広報係

Tel : 0422-41-3005 Fax : 0422-41-3247

E-mail : info2@nmri.go.jp URL : <http://www.nmri.go.jp/>